

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第24週
(6月9日～6月15日)

- * 2008年6月18日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2008年5月)の疾患も掲載しています。
- * 今週は感染症豆知識「黄熱とその予防接種」も掲載しています。

平成20(2008)年6月19日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週		24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
二類	ラッサ熱							
	急性灰白髄炎							1
	結核	88	86	62	45	1820	294	11095
	ジフテリア							
三類	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
	コレラ					2	2	22
	細菌性赤痢		1			23	3	117
	腸管出血性大腸菌感染症	2	1	5	4	36	87	697
四類	腸チフス		1			6		25
	パラチフス				1	4	1	16
	E型肝炎				1	5	1	22
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1	2	17	3	81
	エキノкокクス症							6
	黄熱							
	オウム病							4
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					4	2	98
	デング熱		1			8		26
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							13
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
ブルセラ症								
ベネズエラウマ脳炎								
ヘンドラウイルス感染症								
ボツリヌス症								
マラリア					1	7	1	16
野兔病								2
ライム病							1	3
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	3	2			31	20	344	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	3	5	6	81	13	380
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			1	2	14	3	99
	急性脳炎 **					5		91
	クリプトスポリジウム症					2		2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3			1	9		69
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1		14	1	62
	後天性免疫不全症候群	17	7	7	11	252	19	643
	ジアルジア症	1			1	12		34
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		2		8
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	7	9	7	92	12	360
	破傷風					2	3	38
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1			8	3	34
	風しん	1			1	25	9	210
麻しん	34	22	26	29	1008	206	9392	
2008/6/18集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 45件 肺結核26件、その他19件で、推定感染地は国内42件、香港1件、フィリピン1件、不明1件。年齢は5歳未満1件、10歳代1件、20歳代10件、30歳代6件、40歳代4件、50歳代3件、60歳代8件、70歳代6件、80歳代5件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 4件 有症状者3件、無症状病原体保有者1件で、血清型・毒素型はO157(VT1VT2) 2件、O157毒素型不明 1件、O26(VT1) 1件。年齢は、10歳未満1件、20歳代2件、30歳代1件であった。O26(VT1)の1件は家族検便で発見された。
パラチフス 1件 推定感染地はインドで、生水を使ったジュースまたはガンジス川での遊泳による経口感染が疑われている。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地はネパールで、飲食物による経口感染が疑われているが詳細不明。
A型肝炎 2件 推定感染地は国内1件、インド1件で、いずれも飲食物による経口感染が疑われているが詳細不明。
マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はインドネシアであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 腸管アメーバ症4件、腸管外アメーバ症1件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他1件、不明4件であった。
ウイルス性肝炎 2件 いずれもB型で、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路は性的接触(性別不明)1件、針等の刺入による感染1件であった。
クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 孤発性プリオン病古典型CJDで、年齢は70歳代。
後天性免疫不全症候群 11件 無症候キャリア7件、AIDS 2件、その他2件で、推定感染地は国内10件、米国/オーストラリア1件、推定感染経路はすべて性的接触(同性間9件、性別不明2件)であった。
ジアルジア症 1件 推定感染地は国内で、感染経路は不明であった。
梅毒 7件 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、晩期顕症梅毒1件、無症候梅毒3件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触5件(同性間3件、異性間1件、両性間1件)、不明2件であった。
風しん 1件 臨床診断例1件で、患者は5歳未満、風しん含有ワクチン接種歴1回であった。
麻しん 29件 麻しん(検査診断例)7件、麻しん(臨床診断例)20件、修飾麻しん(検査診断例)2件で、年齢は5歳未満9件、10歳代9件、20歳代6件、30歳代2件、40歳代2件、50歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し11件、1回8件、2回1件、不明9件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年24週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		21週	22週	23週	24週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	4	0	2	3	0.02	149	150
	咽頭結膜熱	71	89	77	105	0.70		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	433	373	494	395	2.65		
	感染性胃腸炎	1,075	905	992	981	6.58		
	水痘	198	271	238	282	1.89		
	手足口病	24	46	53	101	0.68		
	伝染性紅斑	34	31	31	48	0.32		
	突発性発しん	108	91	114	115	0.77		
	百日咳	9	16	15	8	0.05		
	ヘルパンギーナ	33	33	100	157	1.05		
	流行性耳下腺炎	63	50	94	62	0.42		
	不明発しん症 (注1)	9	12	20	25	0.17		
	MCLS(川崎病) (注1)	5	0	4	1	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	39	37	33	22	0.08	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	4	2	2	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	29	16	19	23	0.61		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	2	1	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	2	1	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	2	2	3	3	0.13		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/6/18集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・手足口病の定点当たり報告数は増加した。今後の季節的流行に注意が必要である。
- ・百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去の同時期と比較して依然高いレベルにあり、今後の推移に引き続き注意が必要である。患者実数は8人で、4人が20歳以上であった。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。今後の季節的流行に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

中野区保健所管内定点医療機関

- ・手足口病が近隣の幼稚園にて流行しています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年24週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1			8	4			3	1	
～11か月		4	1	43	15	8	2	55		12
1歳	1	19	11	119	49	23	6	47		50
2歳		9	21	96	49	12	4	8		50
3歳		25	30	108	43	17	10	2		15
4歳		26	84	121	58	20	8			17
5歳	1	9	57	96	33	8	2			6
6歳		3	60	64	11	4	8			2
7歳		4	36	63	8	4	1			1
8歳		2	24	41	4	2			1	1
9歳		1	18	32	5	1	4		1	
10～14歳		2	30	76	3	1	3		1	
15～19歳			1	24						
20～29歳		1	22	90		1			4	3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	3	105	395	981	282	101	48	115	8	157
先週比	1	28	-99	-11	44	48	17	1	-7	57

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月		9				1
1歳	1	7		2		
2歳	3	2	1			1
3歳	5	2				
4歳	13	3		2		
5歳	12					
6歳	11	1		3		1
7歳	5					1
8歳	4			2		1
9歳	3					
10～14歳	4					1
15～19歳	1			1		2
20～29歳				2	1	7
30～39歳				3		4
40～49歳				1		1
50～59歳				2		2
60～69歳				1		
70～79歳				3		1
80歳以上						
合計	62	25	1	22	1	23
先週比	-32	5	-3	-11	-1	4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年24週

	風しん	麻しん
0歳		3
1歳		5
2歳	1	1
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		4
15～19歳		5
20～29歳		6
30～39歳		2
40～49歳		2
50～59歳		1
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	29

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年24週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			2	3	2					1
中央区			4	5	3	4	2	4		2
みなと		4	4	42	22	2	2	4		1
新宿区		5		20	5	9	3	2		1
文京			4	3	5		1	1		4
台東		2	5	18	5	5	3	7		1
墨田区		4	22	17	6					
江東区		2	19	50	11	2	3	3	1	9
品川区			12	50	7	1	3	3		11
目黒区			1	8	4	3				1
大田区		9	33	67	12	4	4	8	3	12
世田谷		6	17	79	13	2		3		9
渋谷区			3	30	5	2	1	1		4
中野区		1	10	56	9	12		3		5
杉並	2	13	9	43	8	2		5		
池袋		1	1	3	4	1				1
北区		4	7	19	7		1	8		10
荒川区		7	7	17	8	4	2	1		13
板橋区			3	15	5		1	1		1
練馬区		2	11	21	9			5		1
足立			9	44	10			7	1	8
葛飾区		2	11	20	8			6		8
江戸川	1	4	37	39	24	16	2	4		20
八王子市		1	43	77	44	12	9	10	2	
西多摩		2	10	19	8			2		8
南多摩			15	21	7	3	5	4		5
町田		5	53	64	9	2	2	8		5
多摩立川			2	26	2	2	1	1		1
多摩府中		5	16	31	12	2		9	1	5
多摩小平		26	25	74	8	11	3	5		9
島しょ										1
東京都合計	3	105	395	981	282	101	48	115	8	157

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2008年24週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		1				
中央区	3					
みなと		2				
新宿区	2					4
文京	1					2
台東	1					
墨田区		1			1	1
江東区	1			1		2
品川区		2		2		
目黒区						2
大田区	1	1				
世田谷	7	1		1		1
渋谷区						
中野区	2	1				
杉並	3					
池袋	2					
北区	1	3				
荒川区	6			3		
板橋区	1			1		1
練馬区	4			2		2
足立	4	1	1			2
葛飾区	1	3				
江戸川	4			1		3
八王子市	7	1				
西多摩	2			1		
南多摩	3					
町田	1	3		9		
多摩立川						2
多摩府中	5	3				
多摩小平		2		1		1
島しょ						

東京都合計	62	25	1	22	1	23
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		1
新宿区		3
文京		2
台東		
墨田区		2
江東区		1
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		1
渋谷区		
中野区		1
杉並		1
池袋		
北区		1
荒川区		1
板橋区		2
練馬区		3
足立		1
葛飾区		1
江戸川		
八王子市	1	1
西多摩		6
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	1	29
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】2008年24週

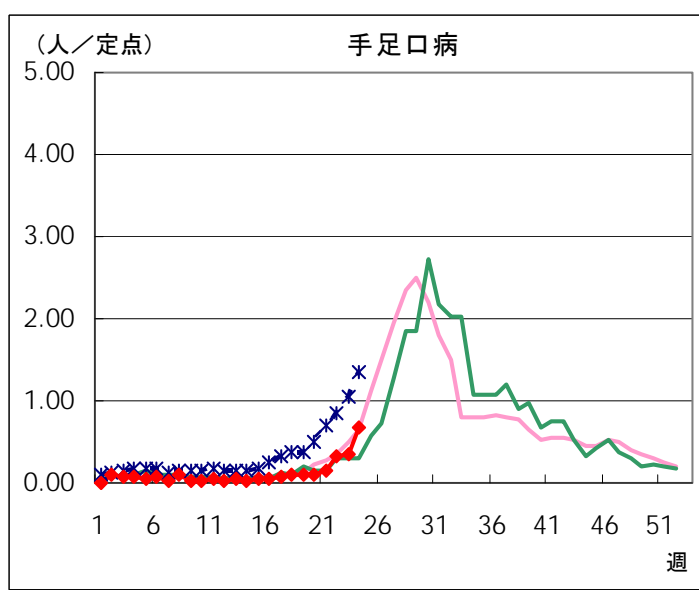
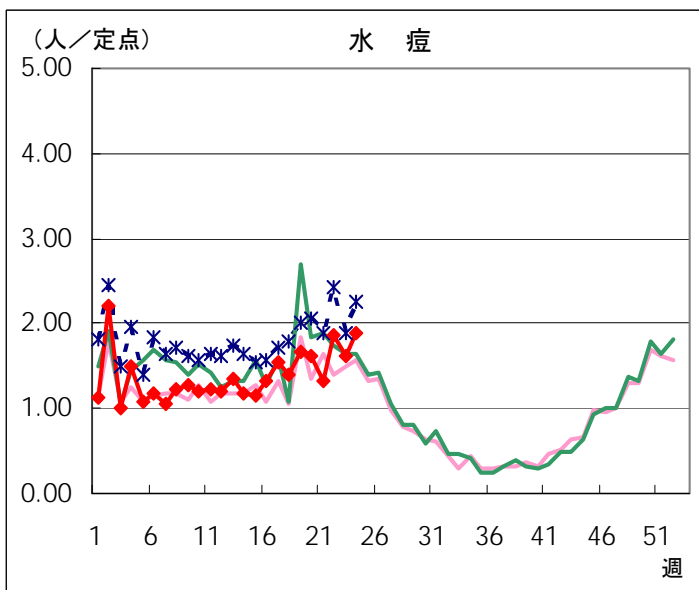
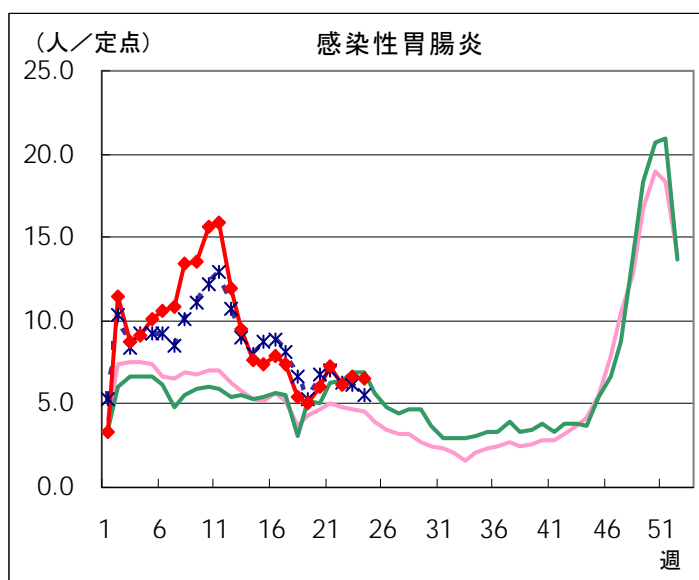
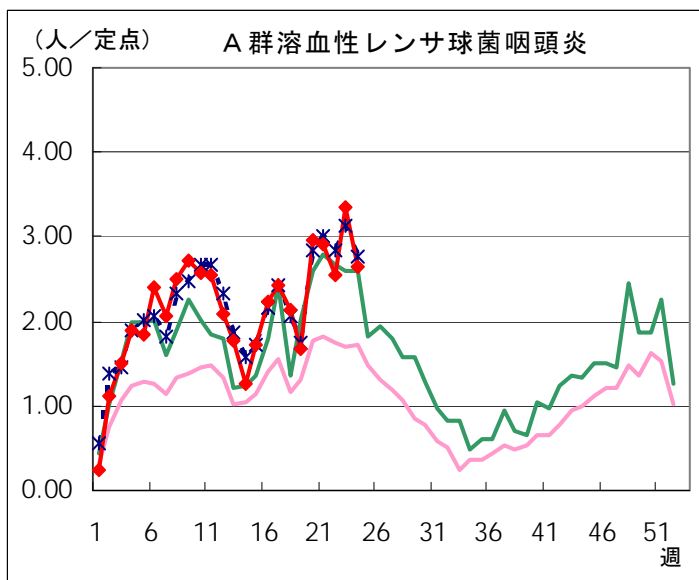
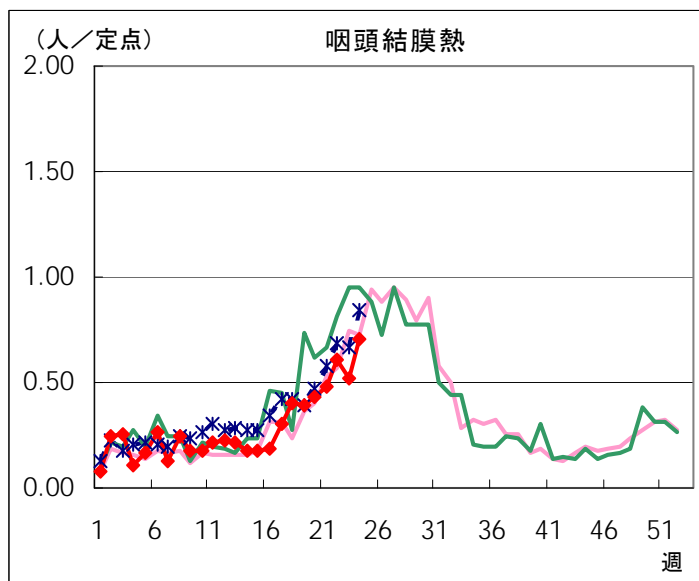
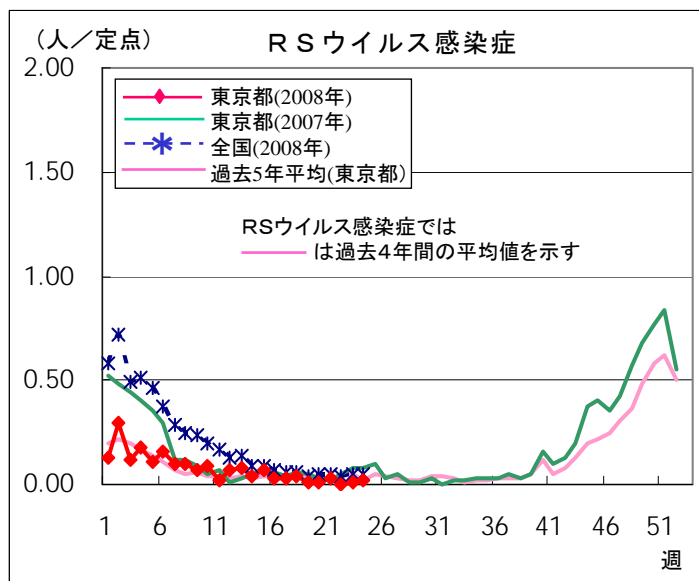
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田			0.50	0.75	0.50					0.25
中央区			1.33	1.67	1.00	1.33	0.67	1.33		0.67
みなと		0.67	0.67	7.00	3.67	0.33	0.33	0.67		0.17
新宿区		0.83		3.33	0.83	1.50	0.50	0.33		0.17
文京			1.33	1.00	1.67		0.33	0.33		1.33
台東		0.67	1.67	6.00	1.67	1.67	1.00	2.33		0.33
墨田区		1.33	7.33	5.67	2.00					
江東区		0.50	4.75	12.50	2.75	0.50	0.75	0.75	0.25	2.25
品川区			2.00	8.33	1.17	0.17	0.50	0.50		1.83
目黒区			0.33	2.67	1.33	1.00				0.33
大田区		1.00	3.67	7.44	1.33	0.44	0.44	0.89	0.33	1.33
世田谷		0.75	2.13	9.88	1.63	0.25		0.38		1.13
渋谷区			0.75	7.50	1.25	0.50	0.25	0.25		1.00
中野区		0.17	1.67	9.33	1.50	2.00		0.50		0.83
杉並	0.33	2.17	1.50	7.17	1.33	0.33		0.83		
池袋		0.20	0.20	0.60	0.80	0.20				0.20
北区		1.00	1.75	4.75	1.75		0.25	2.00		2.50
荒川区		3.50	3.50	8.50	4.00	2.00	1.00	0.50		6.50
板橋区			0.50	2.50	0.83		0.17	0.17		0.17
練馬区		0.40	2.20	4.20	1.80			1.00		0.20
足立			1.80	8.80	2.00			1.40	0.20	1.60
葛飾区		0.50	2.75	5.00	2.00			1.50		2.00
江戸川	0.20	0.80	7.40	7.80	4.80	3.20	0.40	0.80		4.00
八王子市		0.25	10.75	19.25	11.00	3.00	2.25	2.50	0.50	
西多摩										
南多摩			3.75	5.25	1.75	0.75	1.25	1.00		1.25
町田		1.25	13.25	16.00	2.25	0.50	0.50	2.00		1.25
多摩立川			0.33	4.33	0.33	0.33	0.17	0.17		0.17
多摩府中		0.56	1.78	3.44	1.33	0.22		1.00	0.11	0.56
多摩小平		4.33	4.17	12.33	1.33	1.83	0.50	0.83		1.50
島しょ										1.00
東京都	0.02	0.70	2.65	6.58	1.89	0.68	0.32	0.77	0.05	1.05

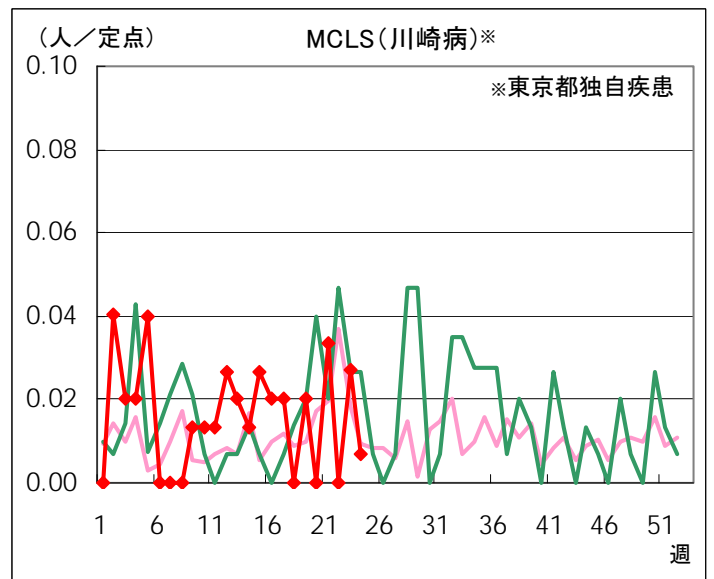
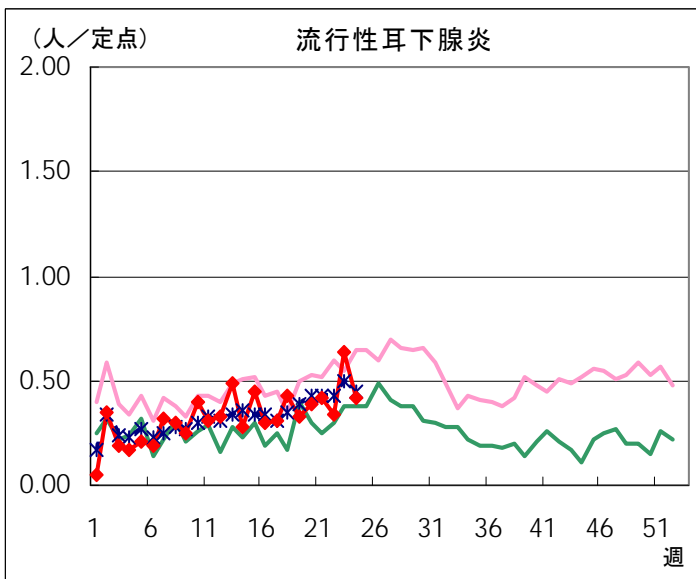
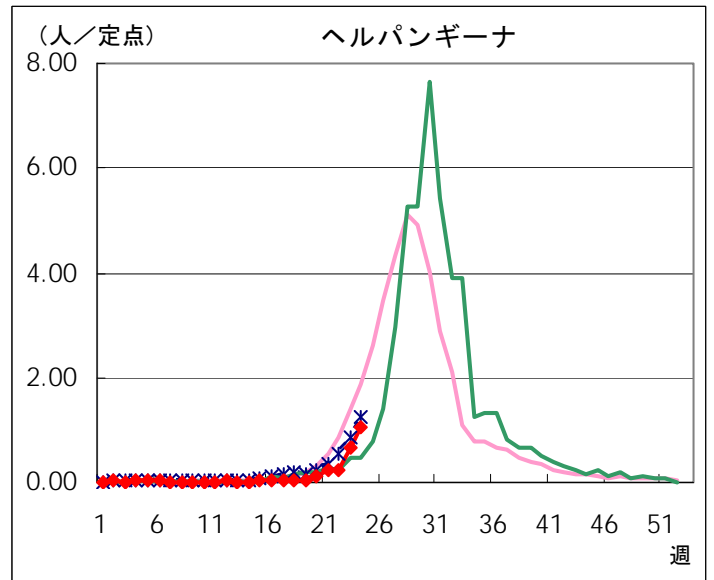
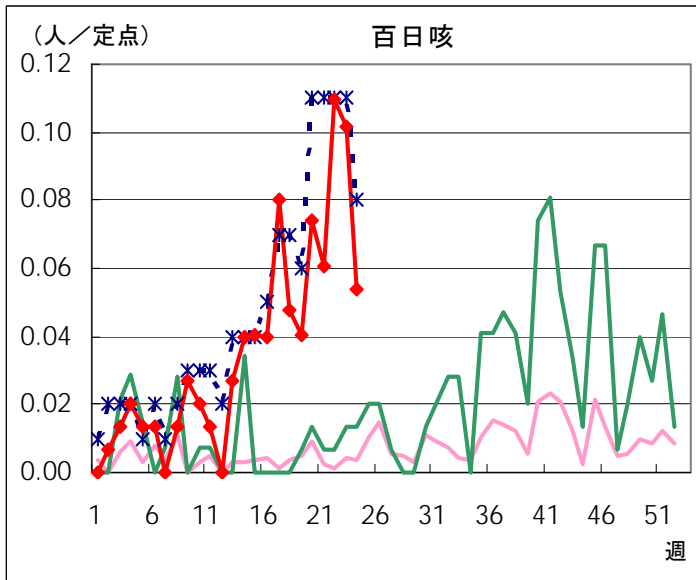
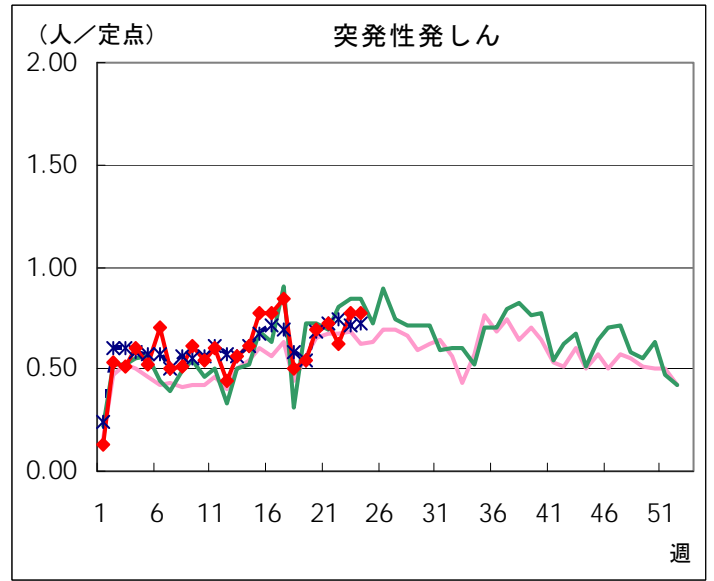
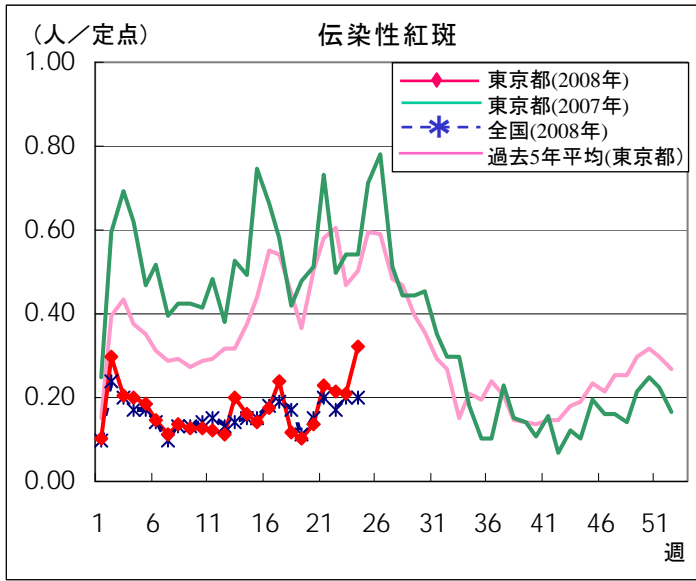
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		0.25				
中央区	1.00					
みなと		0.33				
新宿区	0.33					2.00
文京	0.33					2.00
台東	0.33					
墨田区		0.33			1.00	1.00
江東区	0.25			0.11		2.00
品川区		0.33		0.20		
目黒区						2.00
大田区	0.11	0.11				
世田谷	0.88	0.13		0.06		0.50
渋谷区						
中野区	0.33	0.17				
杉並	0.50					
池袋	0.40					
北区	0.25	0.75				
荒川区	3.00			0.75		
板橋区	0.17			0.08		0.50
練馬区	0.80			0.17		1.00
足立	0.80	0.20	0.20			1.00
葛飾区	0.25	0.75				
江戸川	0.80			0.08		1.50
八王子市	1.75	0.25				
西多摩				0.11		
南多摩	0.75					
町田	0.25	0.75		1.00		
多摩立川						1.00
多摩府中	0.56	0.33				
多摩小平		0.33		0.07		0.50
島しょ						

東京都	0.42	0.17	0.01	0.08	0.03	0.61
-----	------	------	------	------	------	------

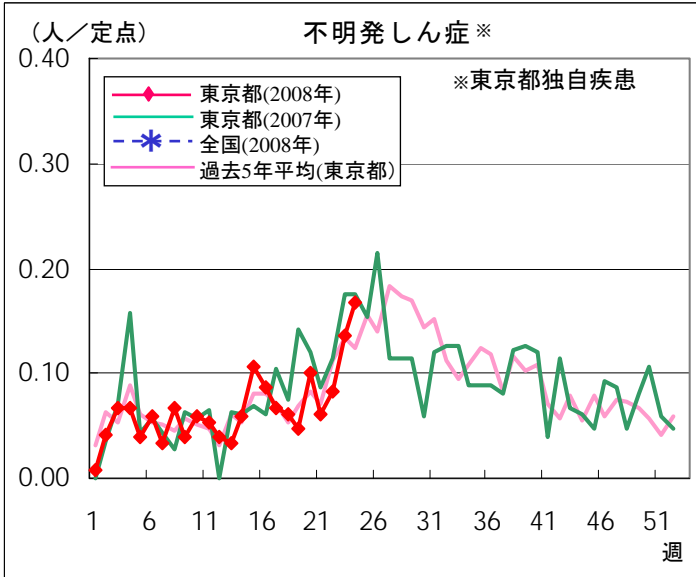
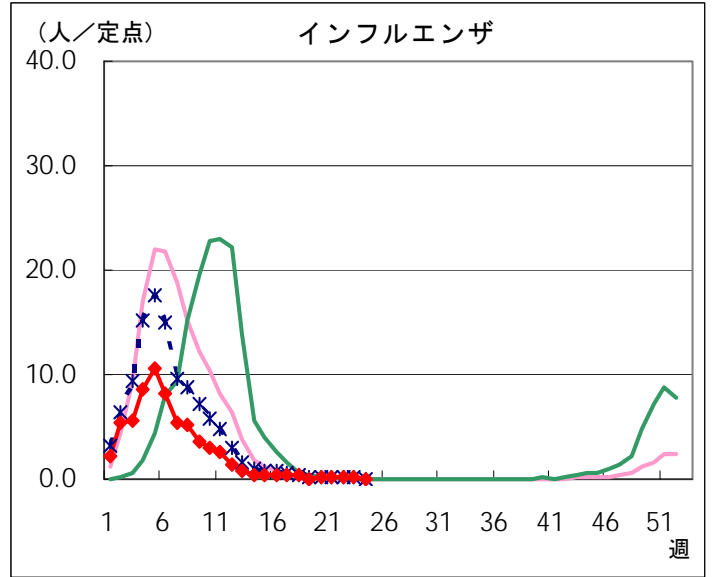
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年24週現在

◆ 小児科定点

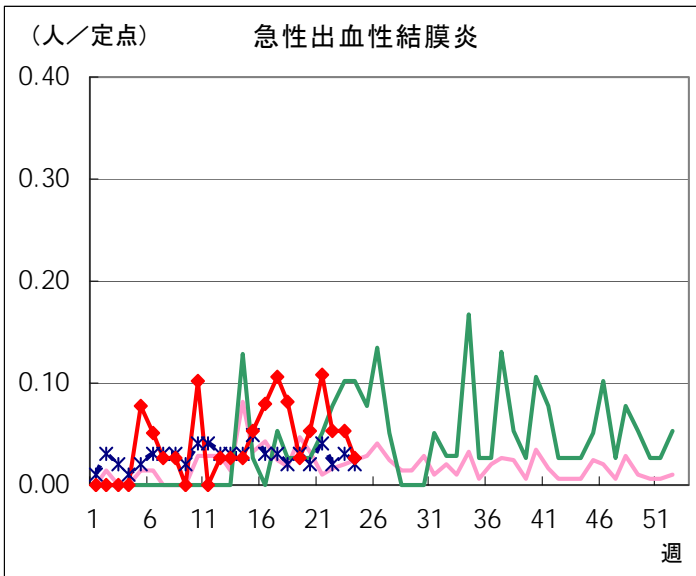
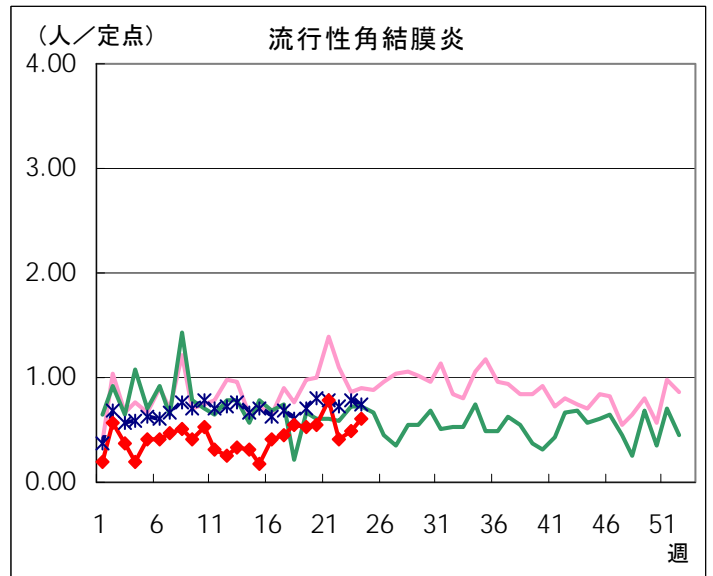




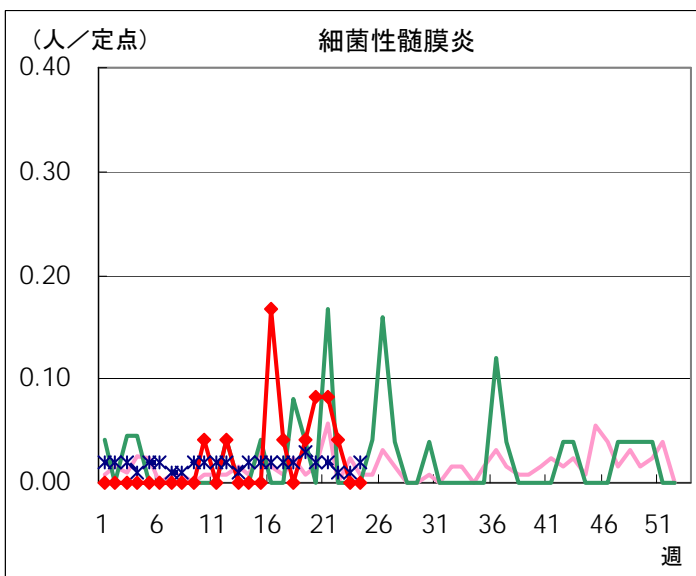
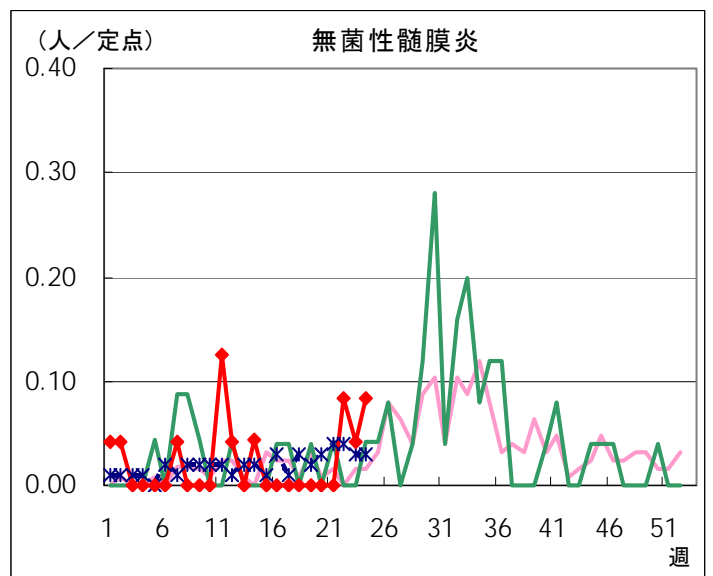
◆ インフルエンザ定点

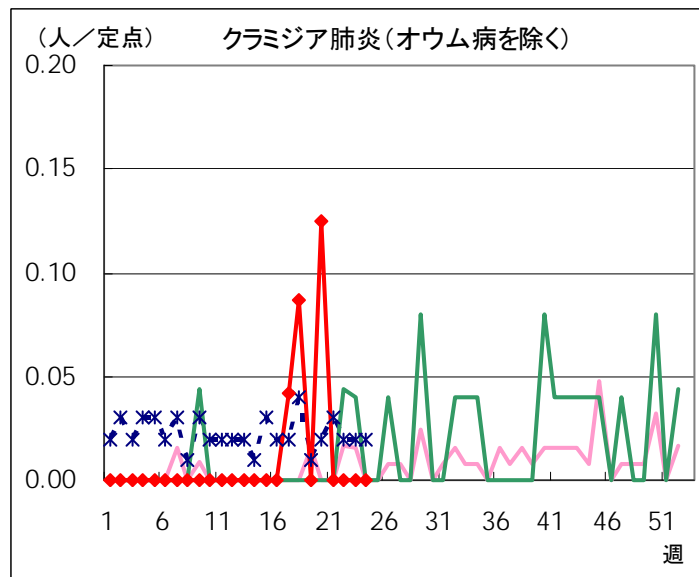
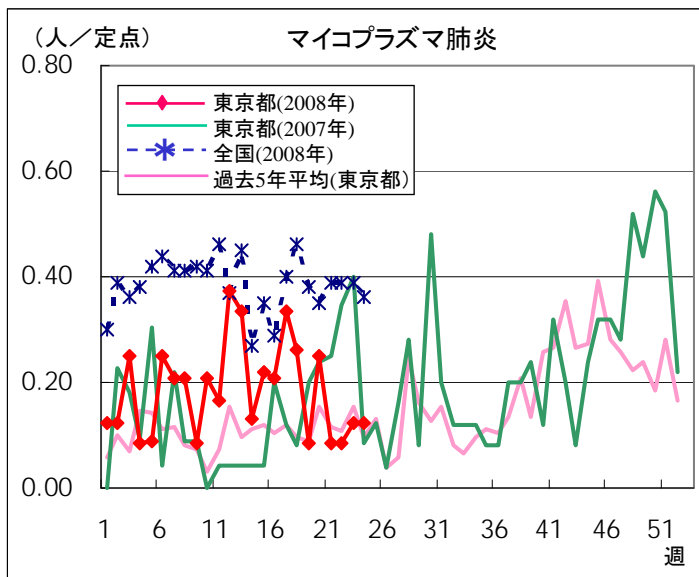


◆ 眼科定点

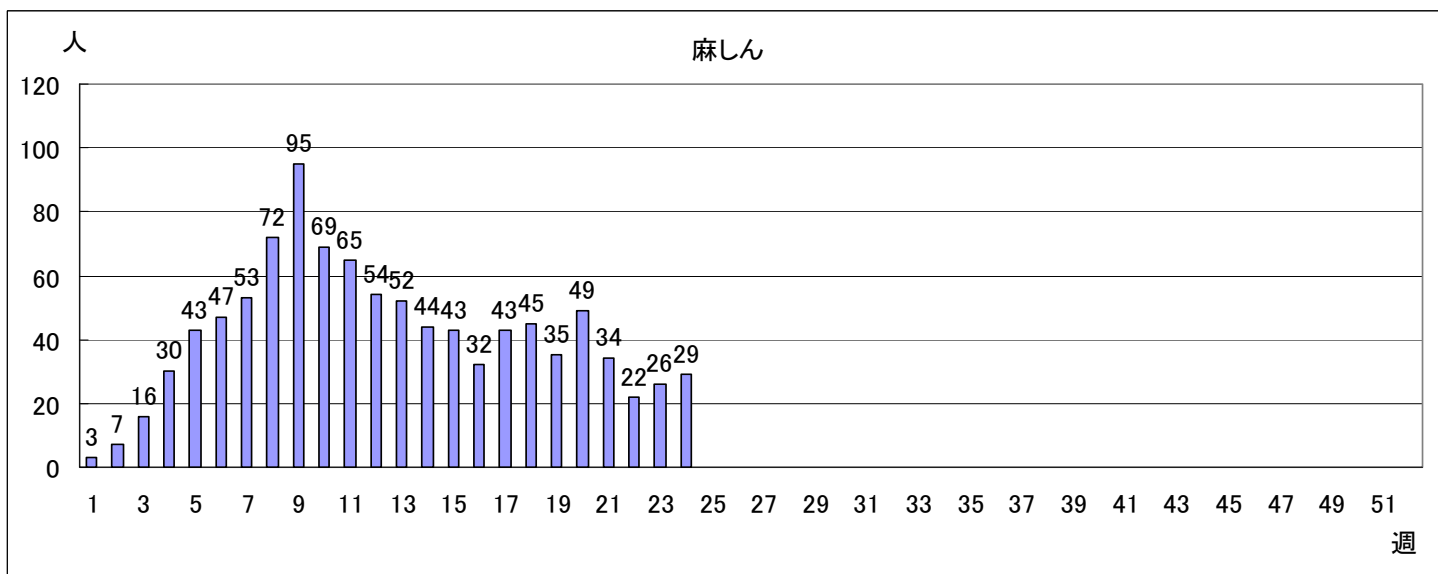


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年24週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
5/26	咽頭炎(溶連菌疑い)	6	咽頭拭い液	MRSA コアグラゼ I 型	分離同定
5/26	咽頭炎(溶連菌疑い)	8	咽頭拭い液	MSSA コアグラゼ II 型	
5/26	咽頭炎(溶連菌疑い)	2	咽頭拭い液	A群レンサ球菌 T-12型	
5/26	咽頭炎(溶連菌疑い)	3	咽頭拭い液	MSSA コアグラゼIV型	
5/29	麻しん	32	咽頭拭い液	麻しんウイルス	遺伝子
5/29	感染性腸炎	6	糞便	サポウイルス	
5/29	気管支肺炎(百日咳疑い)	9	咽頭拭い液	百日咳菌	
5/29	百日咳疑い	19	鼻汁	百日咳菌	
5/30	胃腸炎	1	糞便	アデノウイルス、 ライノウイルス	
5/30	壊死性リンパ節炎	9	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
5/30	不明発しん症	7	咽頭拭い液	パルボB19ウイルス	分離同定
5/30	溶連菌感染症疑い	7	咽頭拭い液	A群レンサ球菌 T-3型	
6/2	咽頭炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
6/2	インフルエンザ	19	記載無し	ライノウイルス66型	
6/2	感染性腸炎	48	ふん便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
6/3	記載無し	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、 サイトメガロウイルス	遺伝子
6/3	気管支炎	3	咽頭拭い液	ライノウイルス	
6/3	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
6/3	頸部リンパ節炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
6/3	咽頭炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
6/3	百日咳疑い	10	喀痰	MSSA コアグラゼV型	分離同定
6/4	流行性角結膜炎	26	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
6/4	りんご病	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、 パルボB19ウイルス、 ヒトヘルペスウイルス6型7型	
6/5	脳症DIHS	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
			尿	サイトメガロウイルス	
6/5	感染性腸炎	8M	糞便	エンテロウイルス	
6/5	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、 パラインフルエンザウイルス1型	

◇積極的疫学調査等による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
記載無し	バンコマイシン耐性腸球菌 感染症	84	菌株(血液由来)	腸球菌 (<i>Enterococcus faecium</i>) <i>vanA</i> 遺伝子保有	同定 遺伝子型

* 22週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		16	17	18	19	20	21	22	23
ウイルス	アデノウイルス	10	11		12	12	9	14	5
	ライノウイルス	6	4		11	5	3	6	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス				1	1	6	5	3
	単純ヘルペスウイルス					1		4	
	水痘・帯状疱疹ウイルス						1		
	ヘルペスウイルス6/7	8			1	3	3	3	2
	EBウイルス	3			1	1	3	2	
	サイトメガロウイルス				3	2	3		2
	ムンプスウイルス	3	1		5		2		
	麻疹ウイルス		2		2		1		1
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19						1	1	2
	RSウイルス								
	ノロウイルス	1	1			3	1		
	ロタウイルス	2							
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	1		4	1					
インフルエンザウイルスB									
デングウイルス									
その他のウイルス	2	1		4	2	2		4	
細菌	カンピロバクター								1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌					1		1	1
	溶血性レンサ球菌			9		1	1	5	2
	その他の細菌		1			2	3	7	6
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年16週～23週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	19	70	77	47	58	5	1	9	1	2	2	25	15	5	5		152	
ウイルス	アデノウイルス		14	18	13			4		1	1	2	2	1	1		16	
	ライノウイルス	1	7	18	3							2		1			7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		6	2	1				1	2		2						2
	単純ヘルペスウイルス					3												2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1			
	ヘルペスウイルス6/7	1										1	5					13
	EBウイルス												1	3				6
	サイトメガロウイルス		1															9
	ムンプスウイルス					2								9				
	麻しんウイルス		1										1			4		
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19		1									2	1					
	RSウイルス																	
	ノロウイルス				5													1
	ロタウイルス				2													
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3	6																
インフルエンザウイルスB																		
デングウイルス																		
その他のウイルス		3	8	3													1	
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																3	
	溶血性レンサ球菌		10	1				5										2
その他の細菌		12	4														3	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年5月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	105	1.94	55	54
		女	104	1.93		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	52	0.96		
		女	37	0.69		
	尖圭コンジローマ	男	45	0.83		
		女	34	0.63		
	淋菌感染症	男	79	1.46		
		女	17	0.31		
	膣トリコモナス症*	男	1	0.02		
		女	14	0.26		
梅毒様疾患	男	7	0.13			
	女	2	0.04			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	32	1.33	24	24
		女	26	1.08		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	78	3.25		
		女	58	2.42		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	3	0.13		
		女	0	0.00		
2008/6/11集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年5月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3	1	2	2		
20～24歳	17	8	9	14		
25～29歳	26	8	6	18	1	
30～34歳	17	5	10	18		1
35～39歳	12	11	7	12		1
40～44歳	14	7	8	6		3
45～49歳	8	4	1	3		
50～54歳	4	2	1	3		
55～59歳	2	4		2		1
60～64歳	1	1		1		1
65～69歳		1				
70歳～	1		1			
合計	105	52	45	79	1	7
先月数	94	50	43	77	3	9
増減数	11	2	2	2	-2	-2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	9	1	2	1		
20～24歳	43	11	10	7	4	
25～29歳	22	6	10	5	1	1
30～34歳	13	8	5	2	3	1
35～39歳	10	6	1		1	
40～44歳	6	2	3	1	3	
45～49歳		1	2	1		
50～54歳			1			
55～59歳	1	2			1	
60～64歳					1	
65～69歳						
70歳～						
合計	104	37	34	17	14	2
先月数	87	27	25	14	10	1
増減数	17	10	9	3	4	1

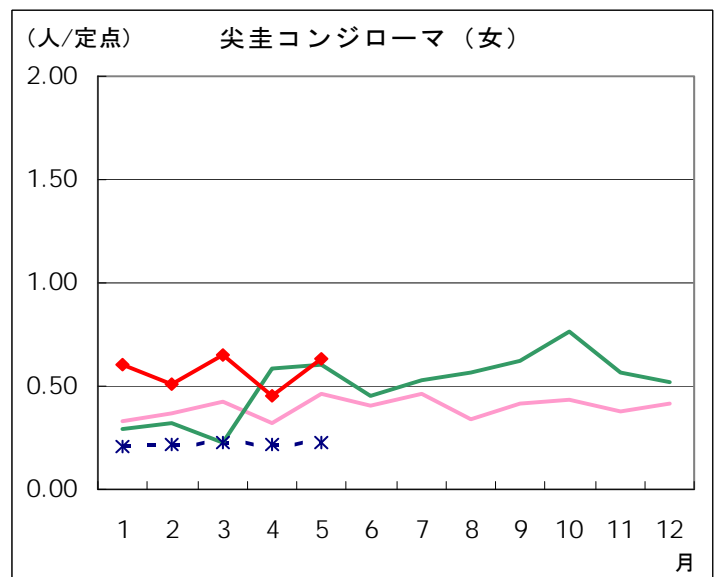
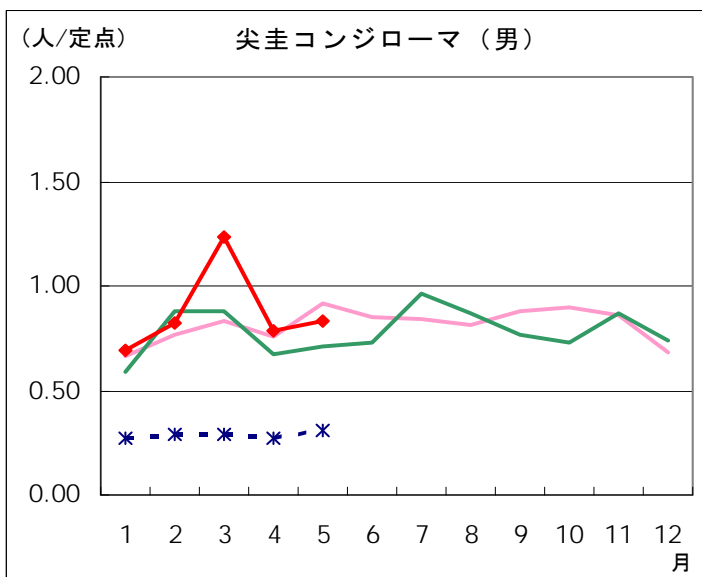
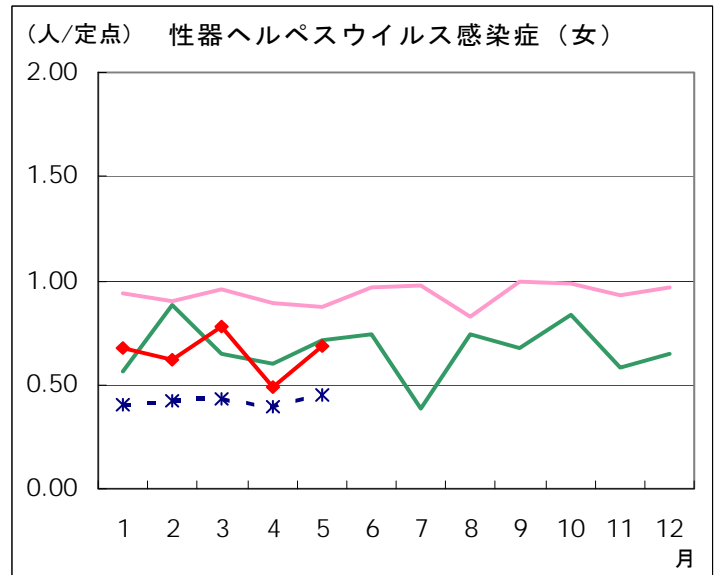
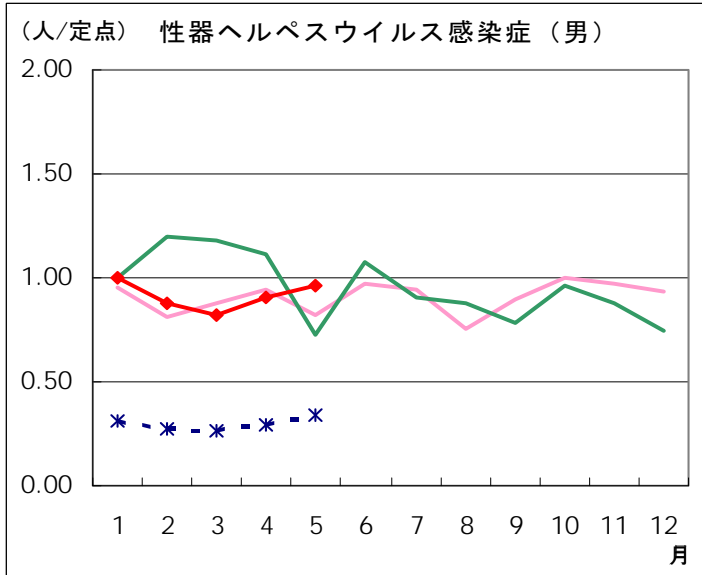
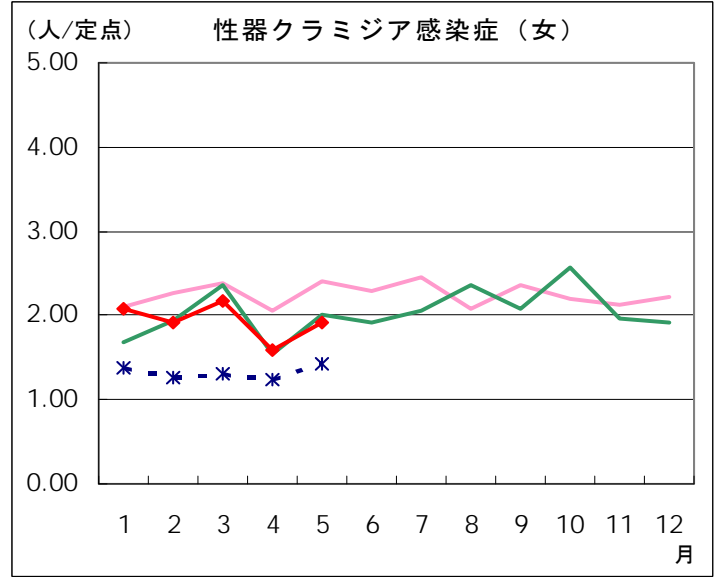
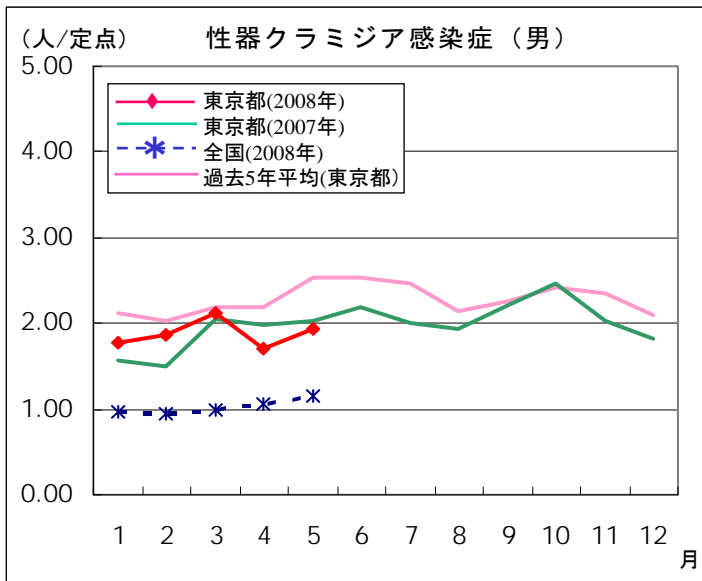
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年5月

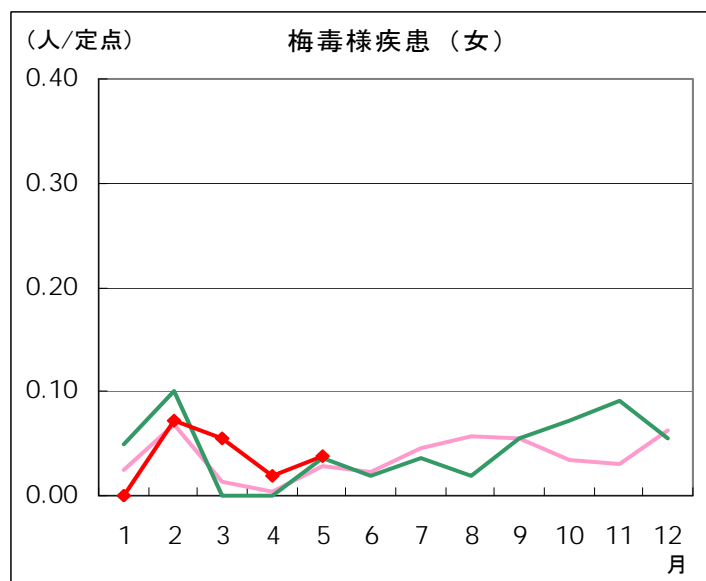
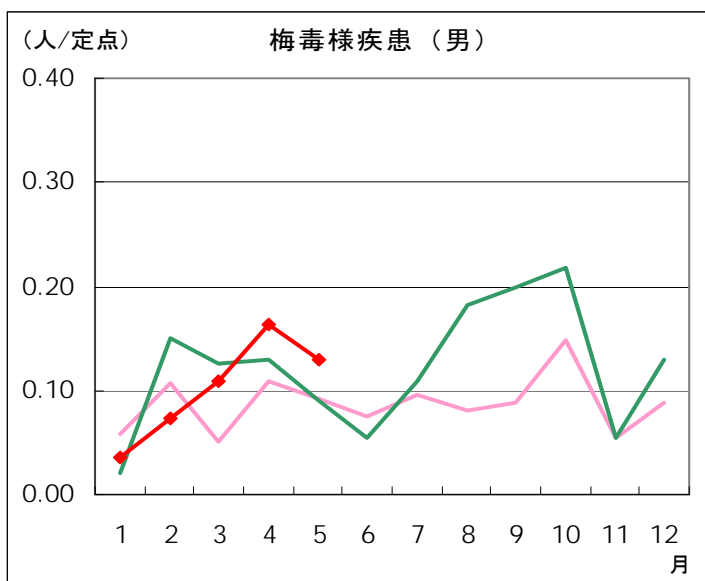
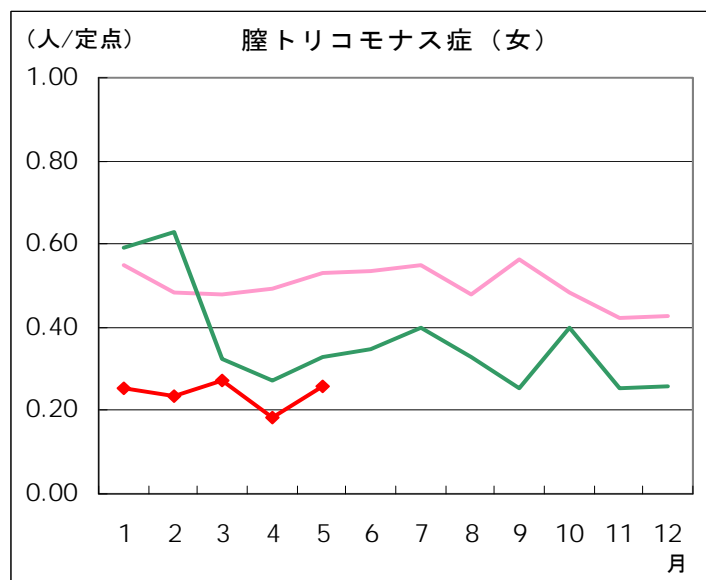
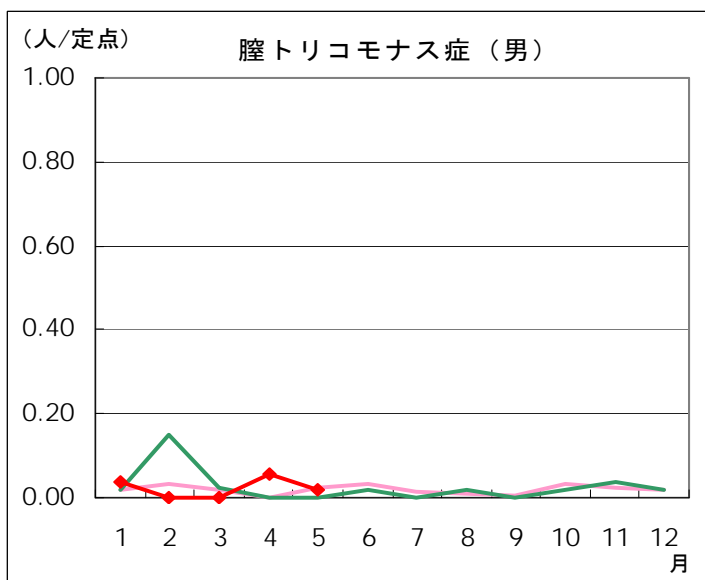
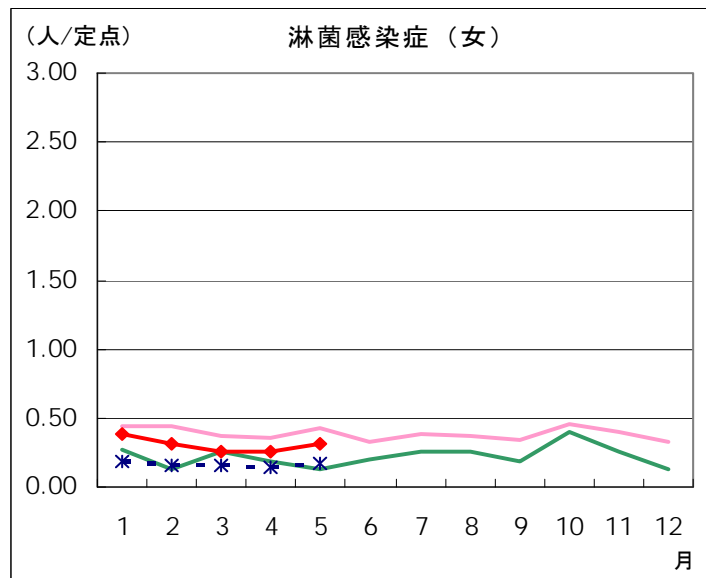
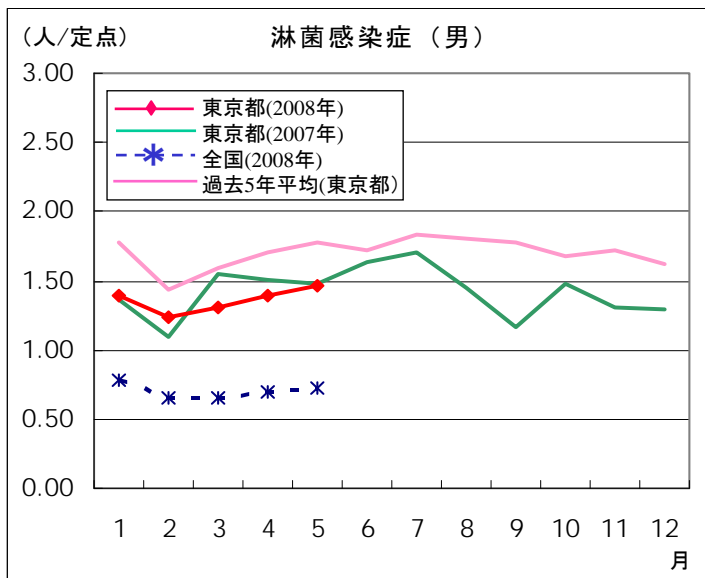
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	1	9	2	3	10		1
中央区	3	5	1		2		
みなの	2	5	4		1		
新宿区	6	21	14	26	17		2
文京	1	2	1	2	7	1	
台東	3						
墨田区	2	1	4	1	2		
江東区	2	12	3	1	10		1
品川区	1	1	2		1		
大田区	2	2			1		
渋谷区	5	7	5		5		
中野区	2	5	1		4		1
杉並	2	2					
池袋	3	14	7	8	9		2
北区	1		1	2			
荒川区	1						
板橋区	2	3		1	3		
足立	2	2	4	1	4		
江戸川	2	9	2		2		
八王子市	4	1					
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	4	1		1		
多摩小平	1						
合 計	54	105	52	45	79	1	7
定点当たり		1.94	0.96	0.83	1.46	0.02	0.13

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	1		1				
中央区	3	4	1				
みなの	2	10	3	1	1		
新宿区	6	8	15	11	8	1	
文京	1						
台東	3	13	1	3		1	1
墨田区	2		1	2		1	
江東区	2	1	2			2	
品川区	1						
大田区	2	1					
渋谷区	5	7	5	9		3	1
中野区	2	3		1	1	1	
杉並	2	1				1	
池袋	3	10	2	2	2		
北区	1						
荒川区	1				1		
板橋区	2	7					
足立	2						
江戸川	2	9	4		2		
八王子市	4	13		3	2	3	
町田	1	2				1	
多摩立川	2	14	1	1			
多摩府中	3						
多摩小平	1	1	1	1			
合 計	54	104	37	34	17	14	2
定点当たり		1.93	0.69	0.63	0.31	0.26	0.04

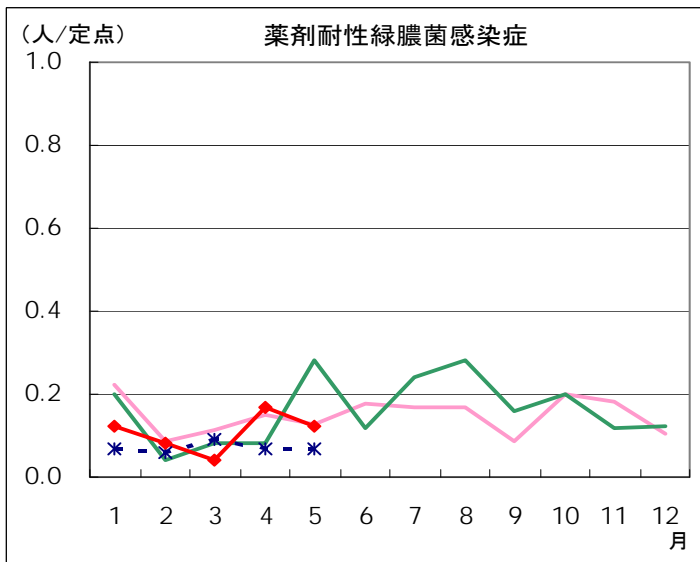
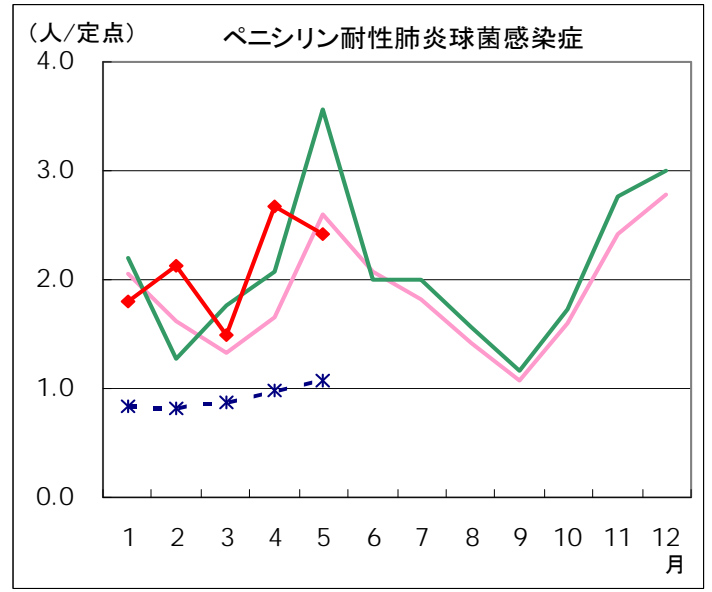
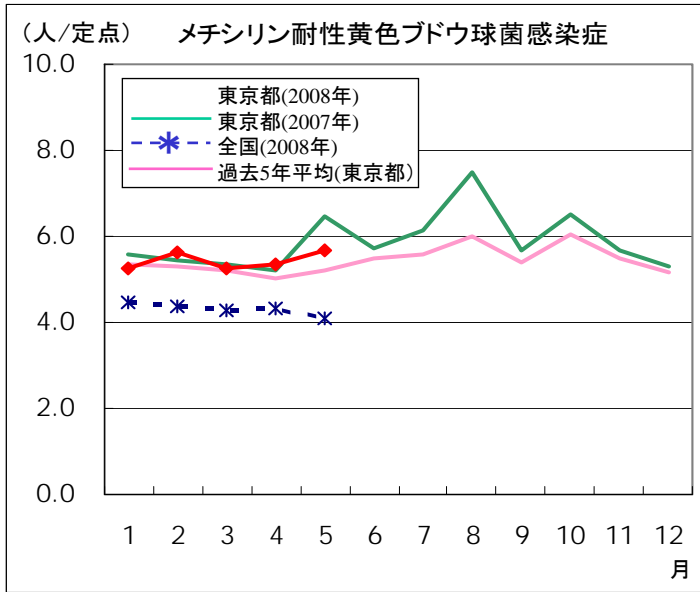
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年5月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
5/2	外陰ヘルペス	23	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型、 クラミジア	遺伝子
5/7	クラミジア頸管炎	20	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 ヒトパピローマウイルス16型	遺伝子
5/7	クラミジア頸管炎	32	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
5/7	淋菌性尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子・ 分離
5/8	陰茎ヘルペス	24	男	皮膚病巣(水泡内容)	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
5/8	尿道炎	31	男	尿	<i>Candida albicans</i>	分離
5/8	淋病疑い	27	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子
5/8	トリコモナス膣炎	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	トリコモナス、クラミジア	遺伝子
5/8	尿道炎	26	男	尿	クラミジア	遺伝子
5/8	尿道炎	49	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子
5/12	高度異形成上皮症	25	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス16型	遺伝子
5/12	記載無し	36	男	尿	淋菌	遺伝子
5/13	淋菌性尿道炎	26	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子
5/13	尿道炎	40	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子
5/13	尿道炎	50	男	尿	クラミジア	遺伝子
5/14	クラミジア	22	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
5/14	尿道炎	42	男	尿	クラミジア	遺伝子
5/15	クラミジア頸管炎	20	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス16型	遺伝子
5/16	クラミジア、他	23	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
5/19	尖圭コンジローマ	24	女	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス57型、 クラミジア	遺伝子
5/19	尿道炎	44	男	尿	クラミジア	遺伝子

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
5/19	尿道炎	29	男	尿	淋菌	遺伝子・分離
5/20	記載無し	31	男	尿	クラミジア	遺伝子
5/21	尿道炎	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子・分離
5/21	頸管炎	25	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
5/22	尖圭コンジローマ	31	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
5/28	性器ヘルペス疑い	41	男	びらん拭い	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
5/29	尿道炎	43	男	尿	淋菌	遺伝子

黄熱とその予防接種

黄熱は四類感染症の全数把握疾患でウイルス性出血熱の一種である。病原体は黄熱ウイルスで蚊の刺咬により感染し、南米およびアフリカの熱帯地域で常在しているが、アジアにおいてはみられない。潜伏期は通常 3～6 日で、病態は軽症から劇症型まで多岐にわたる。軽症例では発熱と頭痛ではじまり、筋肉痛、蛋白尿、徐脈などが数日つづく。重症例はこれらの症状がより強く約 3 日続く。この時期、ウイルスが血中に存在し感染が起きる。その後、解熱するが再び頻回の嘔吐、上腹部痛、黄疸を伴い再上昇してくる。この時期、血中にウイルスは存在せず、抗体が出現する。吐血、黒色便、皮下出血がみられ、蛋白尿、乏尿を呈し腎不全が進行する。その後早ければ 3～4 日間で回復する。重症例の死亡率は 20～50% であり、死亡は第 7～第 10 病日にみられる。早期から白血球減少がみられることも特徴である。診断はまず、南米、アフリカからの帰国者で発熱、黄疸の症例は本症が疑われる。熱帯熱マラリアや急性肝炎、回帰熱との鑑別が必要となり確定診断はウイルスの分離、その遺伝子の PCR 法による検出、および血清抗体上昇の確認による。予防対策としては、弱毒性黄熱 17 株ワクチンが安全で有効である。流行地域では入国あるいはそこを通過してきた際に、ワクチン接種を義務づけている国も多いので南米、アフリカへの旅行者は、ワクチンの接種の必要性を早めに確認する必要がある。接種証明書は接種後 10 日目から 10 年間有効であるが、実際はその効力は 40 年あるいはそれ以上続くとされる。野口英世はガーナで黄熱研究中に殉職した。

(文責:東京女子医科大学国際環境・熱帯医学教室主任教授 小早川隆敏)